

達成状況評価書(平成26年度)

部局名:外国語学部

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」の具体案を作成し、所属学生が文系他学部の課程を副専攻として履修できるプログラムを、平成27年度から実施する体制を整えるなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 また、学部共通科目の更なる充実等について検討し、言語文化研究科との共通科目として、専攻を横断した複数担当教員によるリレー講義科目の開講を決定するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 該当なし。</p> <p>【特記事項】 該当なし。</p> <p>【留意事項】 該当なし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、交流協定の改廃や新規締結(新規交流協定11件、更新6件、廃止4件)を進め、学生の交換留学(派遣110件、受入78件)などの実質的な協定の運用に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、学部長のリーダーシップを發揮できるように一部の委員を学部長指名とし、大学院における各種委員会と連携させ、効率的な運営を行う体制を整えたほか、メンタルヘルスクエア及びハラスメント対策に関しての学生からの意見収集として、一部の専攻語でパイロット調査を行ない、データ分析を行うなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
全体の項目に関する達成状況		<p>【計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」の実施体制の整備、交流協定締結と運用による国際交流の推進、学部長のリーダーシップを發揮するための体制整備、学生支援のためのパイロット調査など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>